

ボラnteia ニューズ

2018年 2月号
No.333

県立宮島工業高校

生命を守り一人ひとりを大切にしたい

青少年赤十字同好会(JRC) Junior Red Cross



県立宮島工業高校では地域社会から愛される学校になるため、次のような重点目標を掲げています。

- ・地域貢献活動、ボランティア活動の推進
- ・地域の活動に参加・交流
- ・学校行事等を広く公開し地域とつながりを深める

青少年赤十字同好会を始めとして、学校をあげて地域と交流し、社会貢献活動を進めています。

◎青少年赤十字同好会
青少年赤十字の活動は、赤十字の基本理念である「人道」にもとづき、「やむをえず」「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を目的に学校の内外で様々な活動を行っています。

教育活動の一つとして学校単位で取り入れており、広島県内の高等学校では28校が加盟しています。宮島工業高校も青少年赤十字同好会として20年前に全国加盟現在17人の部員が活動を続けています。



活動を終えて...
建築科 3年生

災害復興支援、国際協力 など



・宮工文化祭で「復興缶詰」と呼ばれている東北の海産物を販売、その売上金や募金を、日赤広島県支部を通じて被災地へ送りました。

・献血ボランティア：命をつなぐ献血を街頭で呼びかけました。

・ペットボトルキャップ収集：開発途上国の子どもたちに必要なワクチンの購入費用になるエコキャップ運動をしています。

障がい者団体 行事の手伝い



スポーツ大会の審判



クリスマス会では
ちんどん屋も体験

・障がい者交流スポーツ大会」では、準備やゲーム進行のサポートをしました。(サンチェリー)

・廿日市市障害者福祉協会のクリスマス会では、ケーキを配ったりゲームのお手伝いで交流しました。(大野福祉保健センター)「多くの人とふれあえて、自分も楽しめました」建築科2年石口暁(きょう)さん

本校では、青少年赤十字同好会のようなボランティアクラブに所属していなくても、日頃から学んでいる建築、あるいはものづくりに関する知識と技術を生かし、地域貢献活動に力を入れています。

宮工JRC同好会顧問 近藤明弘教諭

技術を生かした!! 地域貢献活動



Before

After

錆びた花台が見違えるほどきれいに

就労継続B型支援事業所「Hanaと花舎」の開所にあたり、花台の塗装と看板を作成しました。開所式で看板贈呈式を行いました。



ままごとハウス(池田保育園)

「ままごとハウス」を製作し近隣保育園に寄贈しました。大野地域にある6つの保育園のうち、これまで5園に届けることができました。

完成を待ちわびる園児たちの声や完成後の笑顔に頑張ることができました。



地域の山や隣接する公園の清掃活動に参加しました。

物見フレンドリーパークの清掃

地域で行われる!! まつり、行事



手作り機関車(健康福祉フェスタ)



看板やオフィスを
作りました



15年前から、地域で開催されるまつりでのステーション作りや会場装飾、運営補助活動を行なっています。

◎「おおのみんなのまつり」会場つくり、オフィスをアトラクションづくり(建築科)

◎「健康福祉フェスタ」手作りの機関車(機械科)、木工のおもちゃ、魚釣りコーナー、(インテリア科)

◎「小さな夏まつり」オリジナルUFOキャッチャー、宮ヒゲ危機一髪(機械科)など、科の特徴を生かした活動をしています。

他に、地域の神社修復や、病院を解体し保育施設にリフォームするなど、地域の人たちに喜んでもらっています。



「おおのみんなのまつり」で、車イスで進む迷路を作りました。車イスの仕組みや使用方法と、車イスを使用される人の不自由さを少しでも理解してもらうために、迷路内にいろいろな障壁を作り、実際に車イスを操作して通り抜けていただきました。